

パブリック・サービス研究分科会 12月 「業務委託と専門職」研究グループ報告書	
日時	2010年12月16日(木)
場所	国立音楽大学 本部棟2階 第3会議室
記録	杉本(成城大学)
参加者	生澤(獨協大学)、撰(国立音楽大学)、加藤(文化女子大学)、塩瀬(女子栄養大学)、 嶋崎(昭和女子大学)、杉本(成城大学)、山田(武蔵大学) (氏名五十音順)

### 【前回までのながれ】

前回終了時の申し合わせ事項として、今回のテーマは、「業務委託のメリット・デメリット」とし、メンバー各自は文献、資料等を調査の上、議論を展開して行くこととしていた。

### 【作業内容】

嶋崎氏が個人調査結果を集約してくれた「大学図書館の業務委託 良い点と問題点」を、メンバーへ配付し、気になる項目について、各人の考え、知識、経験等に基づきそれぞれ議論を進めた。

おもな焦点となった項目は以下のとおりであった。

#### [良い点・効果] <大学図書館>

- ・会議等、専任職員全員参加の行事に集合がしやすくなった。
- ・ルーティンワークの移行により専任職員が新サービス等に従事しやすい環境になることもある
- ・委託へ業務移行した場合に、法人全体としてのコスト削減の効果が発生しているか?
- ・マニュアル化と継承性の向上は図れるか?

#### [問題点] <大学図書館>

- ・専任職員の業務への無関心・やる気のなさを生む直接的な原因となるか?
- ・大学側と委託側間での、情報共有の低下、コミュニケーション不足が心配される
- ・良質な委託スタッフの定着率 → 良質な人材の流出
- ・責任ある業務の依頼は困難 → 信頼性の不安定さ

#### [受託業者]

- ・収益性(利ざや)が低調のため、ビジネスとして発展しにくい
- ・申込者は多いようだが、安定した長期勤務者確保が困難

#### [就業者]

- ・専任職員ではないが希望の職業を実務経験することができる
- ・低賃金の報酬の為、大学の長期休暇期間等においては生計が立てにくい
- ・将来への不安

#### [その他]

- ・「アウトソーシング」・「業務委託」・「人材派遣」の定義、本質的な意味合いの違い

### 【次回までの課題】

- ・業務委託業者側の視点での文献の調査及び今後業者からの意見徴収の機会も必要となる
- ・「専門性」についても平行して調査を進める必要がある